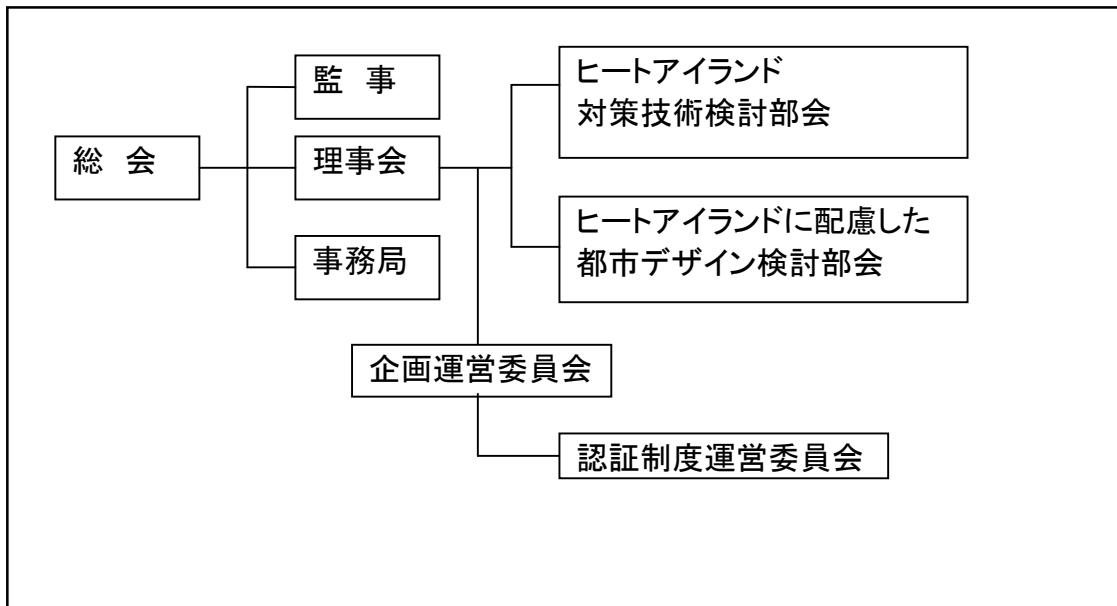


# 平成28年度事業報告

## 1. 組織



## 2. 役員構成（平成29年3月31日時点）

理事長 森山 正和 (摂南大学 特任教授)

副理事長 吉田 篤正 (大阪府立大学大学院 教授)

理事 西村 伸也 (大阪市立大学大学院 教授)

増田 昇 (大阪府立大学大学院 教授)

河上 豊 (関西電力株式会社 環境室長)

鷺尾 修司 (大阪ガス株式会社 CSR・環境部長)

監事 小野 英利 (大阪府環境農林水産部 エネルギー政策課長)

野原賢一郎 (大阪市環境局 環境施策部長)

### 3. 活動実績

#### (1) 理事会・総会の開催

理事会・総会（平成28年6月22日）を開催し、平成27年度事業報告、同収支決算、平成28年度事業計画、同収支予算、会則の改正、理事の再任・選任について議論し、承認を得た。

#### (2) 企画運営委員会の開催

第1回企画運営委員会（平成28年6月9日）は、平成28年度事業計画、行動計画及び理事会・総会に係る議案書について、第2回（平成29年3月17日）は検討部会の進捗状況等について議論した。

#### (3) 啓発セミナー等の開催

ヒートアイランド対策技術に関するセミナーを開催した。

##### ○ヒートアイランド対策技術セミナー（平成28年6月22日）

「大阪府涼しい道（クールロード）100選について」

[鍋島 美奈子（大阪市立大学大学院 准教授）]

「ヒートアイランド対策技術認証制度について」

[野邑 奉弘（大阪市立大学 名誉教授）]

「ヒートアイランド対策技術普及促進の課題と方向性」

[水野 稔（大阪大学 名誉教授）]

<参加者> 42名

##### ○ヒートアイランド対策技術セミナー（平成29年1月19日）

「再帰性反射材の最新技術と動向」

[木下 進一（大阪府立大学大学院 准教授）]

「高日射反射率塗料等の日射反射保持率と汚染促進試験」

[三木 勝夫（三木コーティング・デザイン事務所 所長）]

<参加者> 33名

#### (4) 検討部会（ワーキンググループ）の開催

素材関連、熱有効活用・人工排熱低減、クールスポット創造技術手法、熱負荷評価手法、都市デザインの各ワーキンググループを開催し、ヒートアイランド対策技術の評価・普及等について検討した。

### 【素材関連ワーキンググループ】

高反射材料の汚染促進試験方法と再帰反射性材料について、認証基準（案）を検討し、認証制度運営委員会に諮った。

#### ■第34回会合：平成28年7月7日

##### <内容>

- (1) 平成28年度事業計画（案）について
- (2) 第4回ヒートアイランド対策国際会議の報告
- (3) 高反射率材料の汚染促進試験方法 SWG からの報告
- (4) 再帰性反射材料 SWG の進捗状況報告
- (5) その他

##### 《再帰反射性材料 SWG》

- 第12回会合 平成28年4月12日
- 第13回会合 平成28年6月 7日
- 第14回会合 平成28年7月22日

### 【熱有効活用・人工排熱低減ワーキンググループ】

人工排熱削減の大気熱負荷削減効果の推奨制度確立に向けた議論を行った。また、熱有効活用・人工排熱低減に関する情報収集・調査、検討及び広報を行った。

#### ■第36回会合：平成29年2月17日

##### <内容>

- (1) 河川水を利用した地域熱供給システムについて
- (2) 大阪HITECの取組について
- (3) 未利用熱の活用について
- (4) 熱有効活用・人工排熱低減 WG の歩みと今後の課題

### 【クールスポット創造技術手法ワーキンググループ】

クールスポット創造技術手法WGでは、緑化、水活用（噴霧・散水）等技術手法の研究、具体的活用の提案を行った。

#### ■第32回会合：平成28年10月11日

##### <内容>

- (1) 大阪HITECの新体制について
- (2) クールスポット創造技術手法WGの平成28年度の事業計画について
- (3) 「クールスポット創造技術手法WGの活動等に関するアンケート」の集計結果について
- (4) クールスポット創造技術手法WGに関連する製品紹介
  - ・モク芝マット等緑化製品
  - ・保水・冷水パネル
  - ・アースキーパーの施工
  - ・透水性高強度ポーラスコンクリート「DRY TECH」
- (5) クールスポット創造技術手法WGに関連する情報提供について
  - ・ヒートアイランド現象が激化する都市域の緑化による暑熱環境改善効果の評価
- (6) 今後のクールスポット創造技術手法WGの方向性について
- (7) その他

### 【熱負荷評価手法ワーキンググループ】

認証制度の追加対象技術について、大気熱負荷削減量・表面温度低下を評価するシミュレーションモデルの開発を行った。

##### <内容>

大阪HITECヒートアイランド対策技術認証制度で新たに対象となる技術（再帰性高日射反射率外壁材、同窓フィルム）について、標準的な条件でのシミュレーションプログラムの検討を行った。

### **【都市デザインワーキンググループ】**

地域における「るべき都市デザイン」の検討・提言に向けて、クールスポット・クールロードの現地研修会を実施した。

#### **■第25回都市デザインワーキング会合：平成28年4月20日**

＜内容＞ 平成28年度事業計画（案）について

#### **■第26回都市デザインワーキング会合：平成28年6月27日**

＜内容＞ クールスポット・クールロード現地研修会について

#### **■第27回都市デザインワーキング会合：平成28年8月3日**

＜内容＞ クールスポット・クールロード現地研修会について

#### **■「大阪府クールスポット100選・クールロード100選」**

体感説明会：平成28年8月30日

＜内容＞ クールスポット等の暑熱環境の測定、HITEC会員企業のヒートアイランド対策製品の効果確認

### **(5) 認証制度運営委員会**

認証制度運営委員会にて、「ヒートアイランド対策技術認証制度」への対象技術追加を行った。

#### **■第13回会合：平成28年10月7日**

＜内容＞

- (1) 「ヒートアイランド対策技術認証制度」への対象技術の追加
- (2) 「ヒートアイランド対策技術認証制度」への評価項目の追加
- (3) 認証制度に追加される対象技術の周知計画

### **(6) 部会活動等の周知（大阪HITEC NEWSの発行）**

ニュースレター『大阪 HITEC NEWS Vol. 13』を平成29年2月に発行し、「ヒートアイランド対策技術認証制度」への対象技術の追加や、大阪HITEC執行部の一新、「大阪府クールスポット100選・クールロード100選」体感説明会について紹介した。